



ちょうどいい

# 私と職場の働き方

～社会福祉法人滝沢市保育協会 巣子保育園～



(左から) 主任保育士 小島生子さん、保育士 石沢ゆかりさん、園長 大村東子さん

## 社会福祉法人 滝沢市保育協会

(小山尚元理事長)

滝沢市保育協会は、「慈愛・和・信」を理念に掲げ、養護と教育を一体的に行うことを大切にして市内9か所の保育園を運営しています。

保育の質を向上させるとともに、職員にとって働きやすい環境を整備するため、いわて働き方改革推進運動に参加し、看護や介護休暇、年次有給休暇の取得推進、育児短時間勤務（子どもが3歳に達するまで）、育児休業を取得する職員への配慮（育児休業後に現職復帰できる業務体制の整備等）、有給の病休3か月、結婚・忌引・勤続休暇の新設など、子育てや介護等と両立しながら働ける職場環境づくりに取り組んでいます。

### 子育て真っ最中のお母さん保育士

協会の巣子保育園（園長大

村東子さん）に短期大学卒業後から勤務し、今年で9年目になる石沢ゆかりさんは、7歳（小学1年生）、3歳、0歳のお子さんを持つお母さん保育士です。入職当初は3年間の契約職員でしたが、協会の保育方針や保育士という職業の魅力に惹かれ、継続して働きたいという思いから正規職員に登用されました。3番目のお子さんを出産後、令和6年に復職し、現在は育児短時間勤務と授乳時間（1時間）制度を活用し、9時30分から16時30分の6時間勤務で、育児と仕事に奮闘しています。

### 人に恵まれているから続けられる

保育士を継続しながら3回の出産を経験している石沢さん。産休・育休に入る前には、他の職員から「待っているからね」「無理しないんだよ」と温かい言葉をかけてもらい、復職した時には「おかえりなさい」と笑顔で迎えてもらっているそうです。「周りの職員、園児、その保護者に恵まれています。労いの言葉をかけてもらったり、話を聞いてもらったり、いつでも

コミュニケーションを取れる関係性があるから、仕事や育児で大変なことがあってもメリハリを持って働き続けることができている」と時折涙を流しながらも笑顔で話してくれました。

### チーム力でどんなライフスタイルでも働きやすい職場環境へ

巣子保育園では、年に2回、主任保育士 小島生子さんが全職員と面談を行う機会があります。それ以外でも、小島さんに適宜、職員から相談が寄せられます。小島さんは、「職員にとって、気軽に、気さくに、なんでも話せる存在でありたいです。」と話し、業務に限らずプライベートの話を聞いた

り、時には小島さん自身の失敗談や成功例を話しながら、職員が一人で抱え込まないよう職員のメンタルケアも行い、フォローしていきます。

また、協会では、毎月テーマを定めて園長

会議が行われています。保育の資質向上や働き方改革等のテーマに沿って話し合い、その内容を、各園に持ち帰り、職員会議や研修等で共有しています。巣子保育園の大村東子園長は「働きやすい環境は、やはり人間関係が大きいですね。お互いを補いながらチーム力を発揮し、これからも温かい保育環境、職場環境を目指します。」と力強く語っています。

担任を務める1歳児クラスの子ども達に絵本の読み聞かせを行う石沢さん

